

恵庭市人口ビジョンに係る 転入者アンケート調査報告書

概要版

平成 27 年 7 月

恵庭市

目 次

1. 調査の実施概要	1
1.1 調査の実施概要	1
(1) 調査の実施概要	1
(2) 市民意識調査の対象	1
(3) 配布・回収について	1
1.2 アンケート調査票	1
2. 調査結果の分析	8
2.1 回答者の属性について	8
(1) 性別	8
(2) 年齢	9
(3) 職業	9
(4) 通勤先・通学先	10
(5) 家族構成	11
(6) 居住地域	11
(7) 恵庭市に転入する前の居住地	12
(8) 住まい	13
2.2 転入の理由について	14
(1) 問1. 「恵庭市」に住むことになった最も大きなきっかけ	14
(2) 問2. 「恵庭市」に転入する際の気持ち	15
(3) 問3. 転入先として「恵庭市」以外の検討について	16
(4) 問4. 転入先を決める際に考慮した居住環境について	17
2.3 「恵庭市」のことについて	18
(1) 問5. 転入前の居住地と「恵庭市」の比較について	18
(2) 問6. 「恵庭市」に住み続けたいか	20
2.4 自由意見について	21
(1) 問7. 自由意見について	21
2.5 子育て環境について（高校生以下の子どもがいる世帯）	23
(1) 問8. 子育てに関する情報の入手方法について	23
(2) 問9. 転入前の居住地と「恵庭市」の比較について	24

1. 調査の実施概要

1.1 調査の実施概要

(1) 調査の実施概要

恵庭市への転入世帯を対象に、市民の現状及びニーズを把握とともに、年齢層、性別、家族構成、居住形態、職業等の属性に応じた、ニーズ等の変化等を把握する。

(2) 市民意識調査の対象

直近1年間で、恵庭市への転入世帯(2,319サンプル)等に対し全数調査を実施した。

(3) 配布・回収について

① 配布・回収の方法

郵送による配布・回収。

※宛先不明で返戻となった調査票が6票あったため、実配布数は2,313票となる。

② 調査期間

平成27年5月22日(金)～6月30日(火)

③ 回収状況

平成27年6月30日(火)現在、656票(回収率28.4%)

1.2 アンケート調査票

配布したアンケートは次ページ以降に示すとおりである。

まちづくりに関する転入者アンケート調査票

● まずあなたご自身のことについておたずねします

- (1) あなたの性別は ① 男 ② 女
- (2) あなたの年齢は
 ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代以上
- (3) あなたの職業は
 ① 農林漁業 ② 自営業 ③ 会社員
 ④ 公務員・団体職員 ⑤ パート・アルバイト ⑥ 専業主婦・主夫
 ⑦ 学生・専門学校生 ⑧ 無職 ⑨ その他
- (4) 通勤・通学している方におたずねします。あなたの通勤・通学先はどこですか。
 ① 恵庭市内 ② 北広島市 ③ 千歳市
 ④ 札幌市 ⑤ その他 ()
- (5) あなたの家族構成は
 ① 単身世帯 ② 夫婦だけの世帯 ③ 親と子(長子が未就学)の世帯
 ④ 親と子(長子が小学校以上)の世帯 ⑤ 親と子と孫の三世帯世帯
 ⑥ その他(①～⑤のいずれにもあてはまらない世帯)
- (6) あなたのお住まいの地域は
 ① 恵庭小学校区(白樺町、末広町、栄恵町、泉町、桜町、京町、漁町、福住町、
緑町、相生町、住吉町、新町、本町、黄金北、黄金中央、上山口)
 ② 和光小学校区(戸磯、恵南、和光町、駒場町、黄金南、相生町、住吉町、上山口)
 ③ 柏小学校区(大町、文京町、牧場、美咲野、幸町、柏木町、北柏木町3丁目、盤尻、島松沢)
 ④ 若草小学校区(有明町、中島町、恵央町、柏陽町、北柏木町1・2・4・5丁目)
 ⑤ 恵み野小・恵み野旭小学校区(恵み野西、恵み野南、恵み野東、恵み野北、恵み野里美)
 ⑥ 島松小学校区(島松寿町、島松仲町、島松東町、島松本町、島松旭町、西島松、南島松、
中島松、下島松、穂栄、北島、林田)
 ⑦ 松恵小学校区(漁太、林田、春日、中央、上山口、中島松)
- (7) 恵庭市に転入する前はどこにお住まいでしたか
 ① 北海道内 市町村名 ()
 ② 北海道外 都道府県名 () 市町村名 ()
- (8) あなたの現在のお住まいは
 ① 持ち家(分譲マンション含む) ② 民間の借家・アパート・賃貸マンション等
 ③ 社宅・官舎 ④ 公営住宅 ⑤ その他
⇒次のページへお進みください

● 「恵庭市」のことについておたずねします

あなたは以前住んでいたまちと比べて、
 問5 I. 恵庭市で充実しており、続けてほしいと思うことがありますか？
 また、II. 恵庭市にあったら良いと思うサービスはありますか？
 次の中から選んでください。
 （それぞれ3つまで選び下段の回答欄に番号を記入してください）

- ① ボランティアや市民活動、町内会活動への支援
- ② 恵庭市のPRや住宅、土地情報や賃貸住宅の情報提供
- ③ 防災体制（地震・風水害など）
- ④ 消防体制（火災・救急など）や交通安全・防犯体制
- ⑤ 高齢者や障がい者への福祉サービス、福祉環境整備・維持管理
- ⑥ 休日夜間急病センターなど救急医療体制の保持
- ⑦ 各種検診や健康教室などの保健サービス
- ⑧ 花のまちづくり、読書活動を通したまちづくり
- ⑨ 若者や女性、高齢者に対する求人情報の広報
- ⑩ 道と川の駅などを活用した観光振興
- ⑪ 地元商店街の活性化、多様な業種店舗の開業の支援
- ⑫ 工場や研究機関などの誘致
- ⑬ 子育て支援センターや学童クラブなど子育て支援の取り組み
- ⑭ 保育所や小中学校、児童館など教育環境整備・維持管理
- ⑮ 特色ある学校教育の取り組み
- ⑯ 文化活動への支援・育成、生涯学習や社会教育などの学習機会の確保
- ⑰ 図書館や郷土資料館、市民会館など文化環境整備・維持管理
- ⑱ スポーツ・レクリエーション環境整備・維持管理
- ⑲ 公園や広場、子どもの遊び場の整備・維持管理
- ⑳ 水や緑などの自然環境、景観やまち並みの保全
- ㉑ 騒音、振動、大気汚染などの公害対策
- ㉒ 道路の整備・維持管理、除排雪
- ㉓ コミュニティバス（エコバス）の運行など公共交通の取り組み
- ㉔ 水道水の安定供給、生活排水処理など下水道の整備・維持管理
- ㉕ 戸別収集などのごみ処理体制、資源リサイクルの取り組み
- ㉖ 特にない
- ㉗ その他（下記自由意見記述欄にご記入ください）



回答欄

I				II			
(以前のまちより充実)				(恵庭市にあったら良い)			

自由意見記述欄

⇒次のページへお進みください

問6 あなたはこれからも「恵庭市」に住み続けたいと思いますか？
次の中から選んでください。(一つだけ)

- ① ずっと住み続けたい
- ② できれば住み続けたい
- ③ いずれは引っ越したい
- ④ すぐにでも引っ越したい



③④にチェックをつけた場合、その主な理由をお聞かせください

問7 今後、市民にとって恵庭市がもっと暮らしやすいまちであるために、
皆様のご意見、お考えなど自由に記載してください。



次のページは高校生以下のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。
それ以外の方については、このページで終わりです。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

● **高校生以下のお子さん**がいらっしゃる方のみお答えください。

問8 あなたは、子ども・子育てに関する情報はどのように入手していますか？
次の中から選んでください。(いくつでも)

- ① 恵庭市ホームページ
- ② 恵庭市子育て支援サイト「えにわっこなび」
- ③ 市の広報誌「広報えにわ」
- ④ 購読している新聞
- ⑤ 情報誌「ちゃんと」
- ⑥ 知人・友人などの口コミ
- ⑦ 保健センターや子ども未来室など市役所の窓口
- ⑧ その都度インターネットやスマートフォンによる検索
- ⑨ 情報が得られない
- ⑩ その他 ()



<http://eniwakko-navi.com/>
恵庭市における子育て情報満載
(メールマガジンもあります)

あなたは「恵庭市」における子育て環境で以前住んでいたまちと比べて、
I. 充実していると思いますか？
問9 また、II. 本市の子育てサービスであつたら良いと思うサービスはありますか？
次の中から選んでください。
(それぞれ3つまで選び下段の回答欄に番号を記入してください)

- ① 学童クラブや保育園、認定子ども園など子どもを預かる施設、機能
- ② 子育て支援センターなど、子どもと一緒に遊べる室内施設、機能
- ③ 公園など子どもが遊べる屋外施設
- ④ 学童クラブや保育園保育料補助など子育て支援に関する経済的支援
- ⑤ 赤ちゃん家庭訪問などの保健センターなどの子育て育児相談
- ⑥ 小児科、産婦人科など子育て関連の医療機関
- ⑦ 図書館の児童閲覧室や公共施設などの子どもトイレ、授乳室などの施設、機能
- ⑧ 子育てに関する恵庭市の制度、情報などの情報発信
- ⑨ 恵庭市内における子ども向けイベント、まつり
- ⑩ 特にない
- ⑪ その他 (下記自由意見記述欄にご記入ください)

回答欄

I				II			
(以前のまちより充実)				(恵庭市にあつたら良い)			

自由意見記述欄

ご協力ありがとうございました。記入後は返信用封筒にこの調査票を入れて
切手を貼らずに6月12日(金)までにご返送ください。





左は昨年11月に変更となった新しい恵庭市のカントリーサインです。恵庭のシンボル「恵庭岳」を背景に、色鮮やかな花に囲まれながら本を読んでいる女の子。「花のまち」「読書のまち」といった市民活動をイメージしたデザインです。

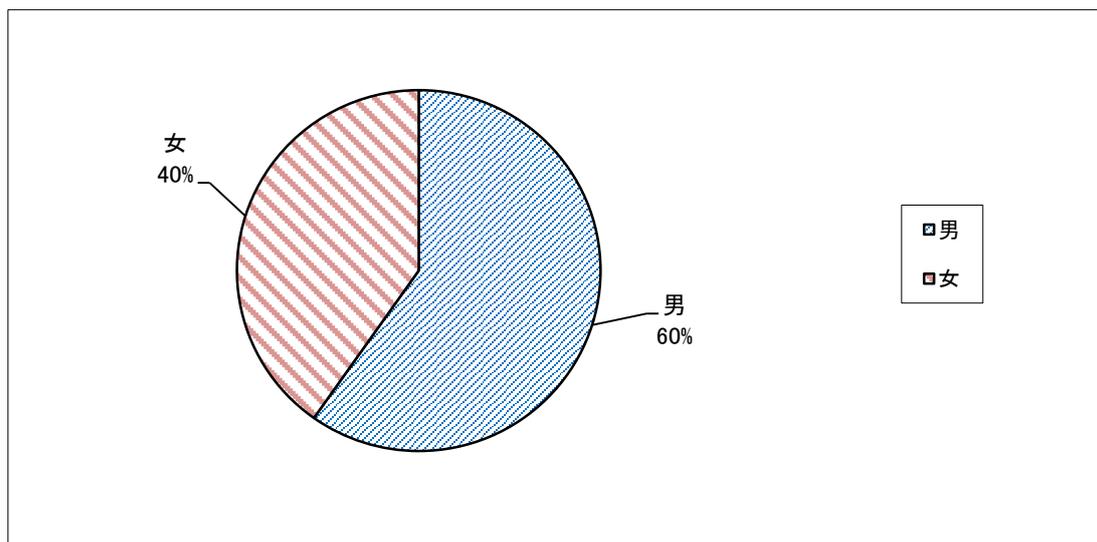
恵庭市企画・広報課
TEL33-3131内線2344
E-mail:kikakukouhou@city.eniwa.hokkaido.jp

2. 調査結果の分析

2.1 回答者の属性について

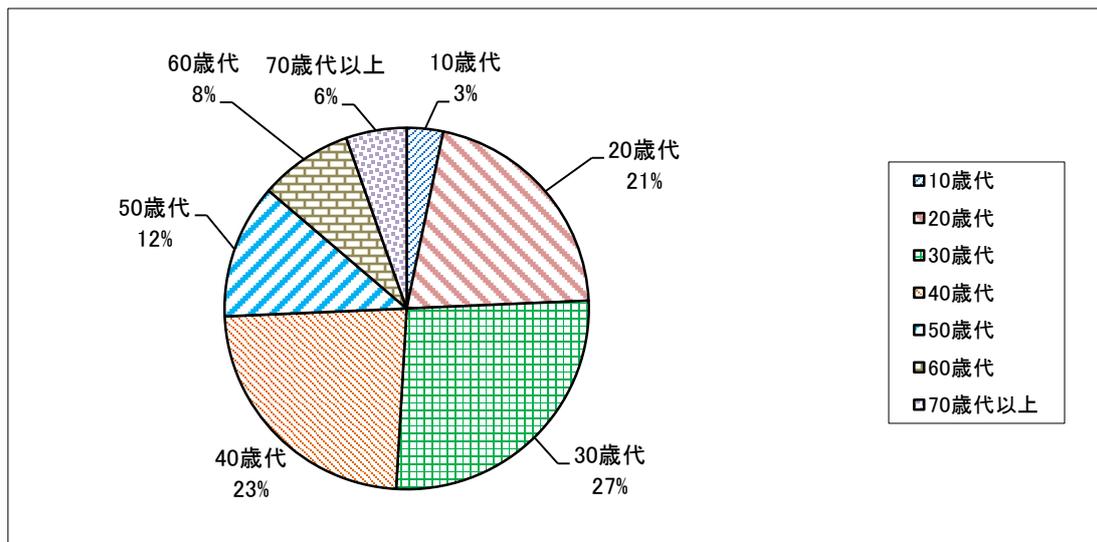
(1) 性別

- 回答者の性別は男性 60%、女性 40%と若干男性の回答者が多い。
- 年代別には、30 歳代までは概ね半数となっており、50 歳代～60 歳代では男性の回答者が 80%を超えているが、70 歳代以上では反対に女性の回答が 69%程度と多くなっている。



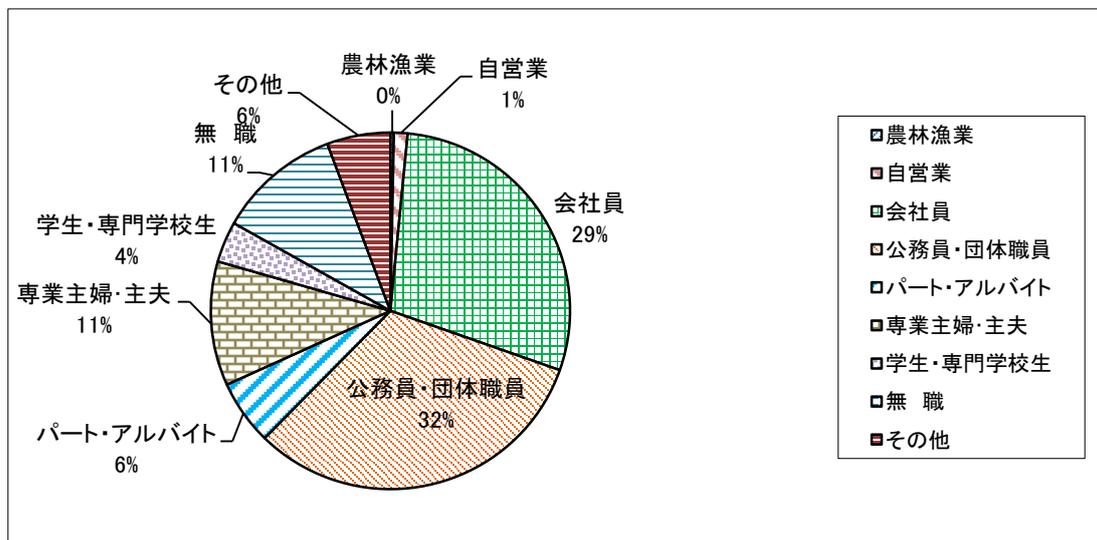
(2) 年齢

- 30歳代が27%と最も多く、次いで40歳代が23%、20歳代が21%となっており、20歳代～40歳代の回答が71%（約7割）を占め、子育て世代を中心とした回答者が多くなっている。
- 地区別には、若草小学校区、和光小学校区、柏小学校区では40歳代以下の回答者が80%を超えているのに対し、恵み野小・恵み野旭小学校区では60%とやや低くなっている。（なお、松惠小学校区については、回答者が2名のため50歳代、60歳代のみとなっている）



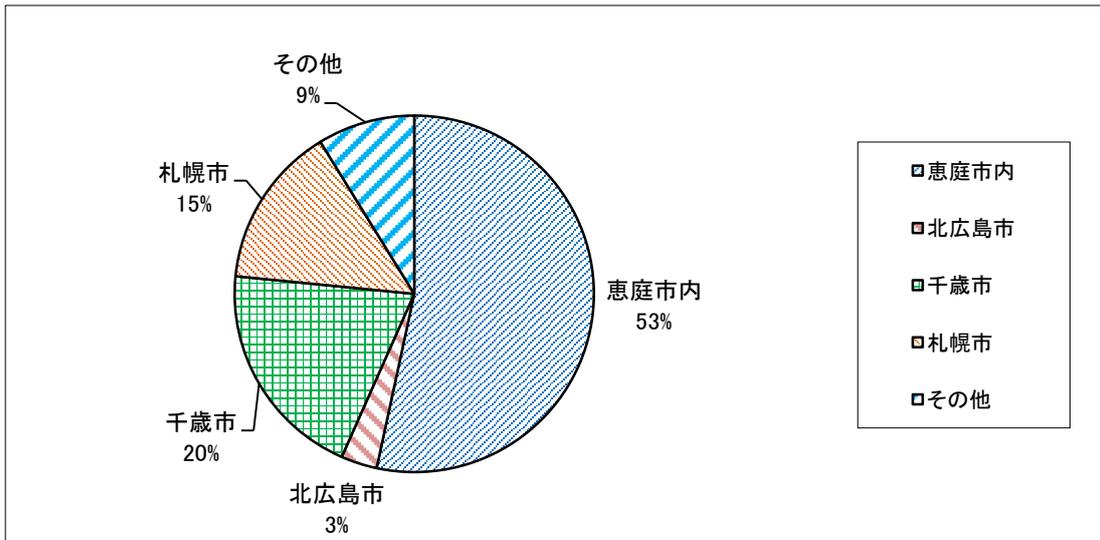
(3) 職業

- 公務員・団体職員が32%と最も多く、次いで、会社員が29%、専業主婦・主夫、無職の回答者がそれぞれ11%となっている。
- 年代別には、10歳代は学生・専門学校生が57%となっており、60歳代以上で会社員、公務員・団体職員が減少し、70歳代以上では無職が82%となっている。また、専業主婦・主夫は、30歳代で多く、21%となっている。
- 住まい別には、社宅・官舎は公務員・団体職員が68%と多くなっている。

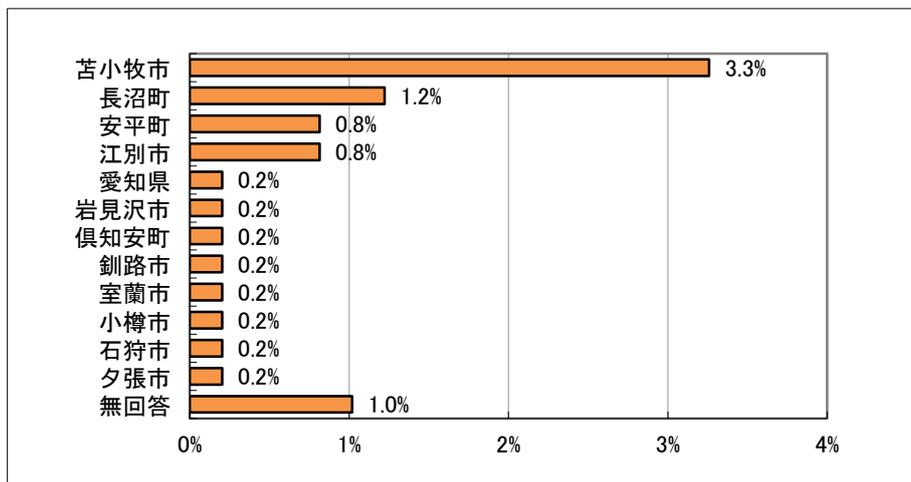


(4) 通勤先・通学先

- 恵庭市内に通勤するという回答が53%あり、次いで千歳市20%、札幌市15%、北広島市3%となっている。その他の中では、苫小牧（回答者全体の割合では、北広島市と同じ3%となる）が最も多くなっている。
- 地区別には、恵み野小・恵み野旭小学校区で、他の地区と比して札幌市への通勤23%と、やや多くなっている。また、柏小学校区で、他の地区と比して北広島市への通勤13%と、やや多くなっている。

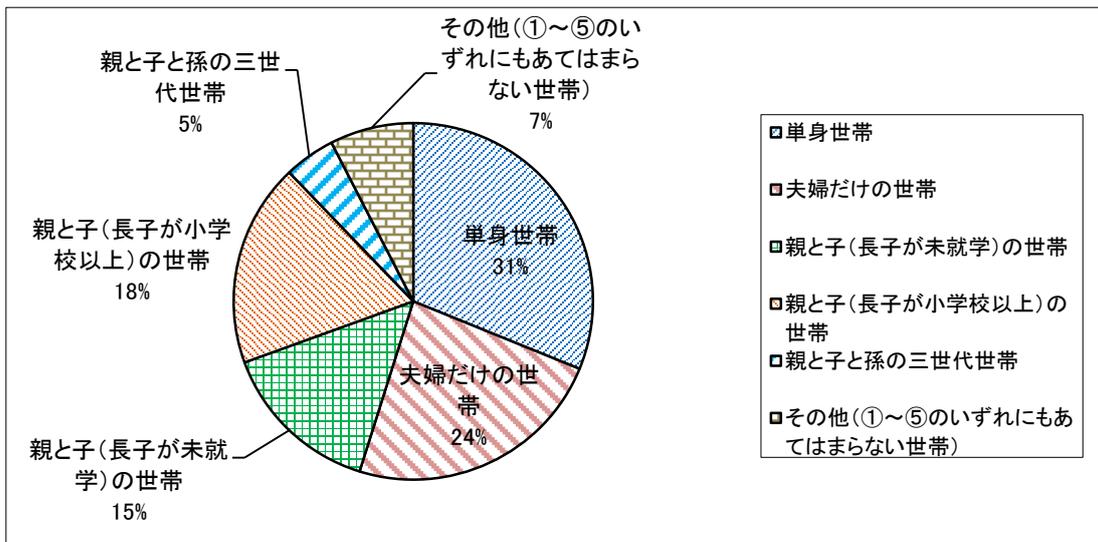


その他の内容



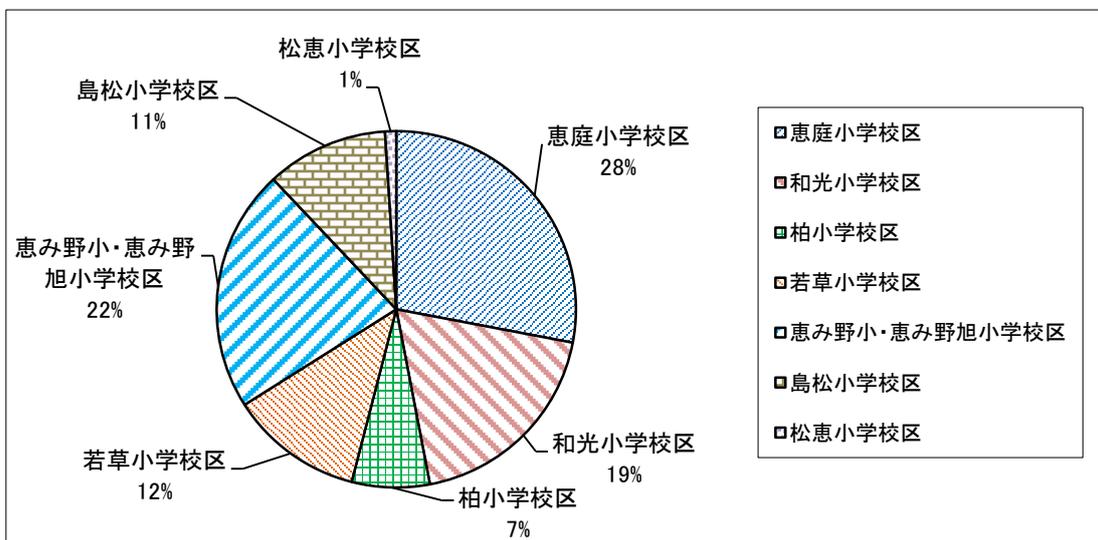
(5) 家族構成

- 親と子（長子が未就学）の世帯が 15%、親と子（長子が小学校以上）の世帯が 18% となっており、親子の占める割合は合わせると 33%と最も多く、次いで、単身世帯 31%、夫婦だけの世帯 24%、親と子と孫の三世帯 5%となっている。
- 年代別には、30 歳代は親と子（長子が未就学）の世帯が 34%と最も多く、40 歳代は親と子（長子が小学校以上）の世帯が 38%と最も多くなっている。60 歳代では夫婦だけの世帯の割合が半数を占め、70 歳代以上では、単身世帯、その他の割合が増加している。
- 地区別には、恵み野小・恵み野旭小学校区は単身世帯が 15%と他地区と比較すると最も少なくなっている。（松恵小学校区は回答者が 2 名のため除く）



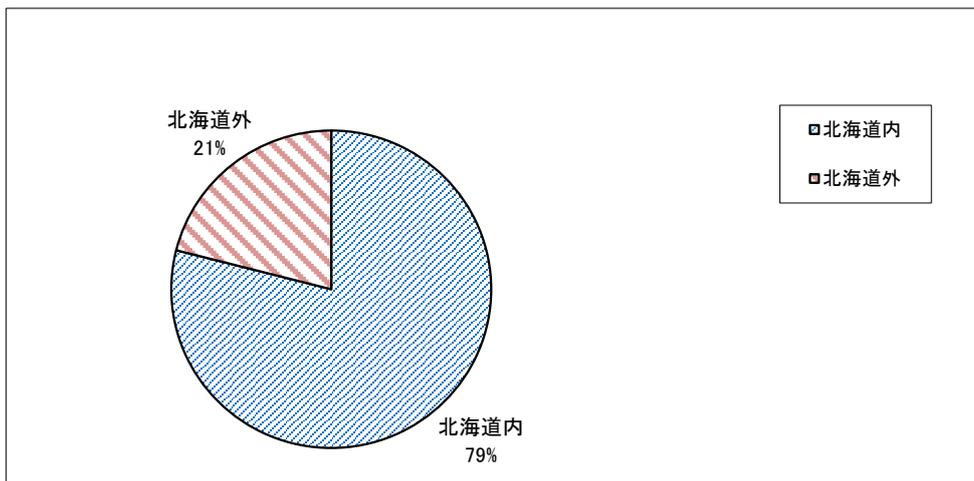
(6) 居住地域

- 恵庭小学校区が 28%と最も多く、次いで、恵み野小・恵み野旭小学校区が 22%、和光小学校区が 19%と続いている。松恵小学校区では回答者（2 名）が 0.5%未満となり特に少なくなっている。
- 恵み野小・恵み野旭小学校区の転入においては、恵み野駅西口区画整理が行われ恵み野里美地区の宅地造成、恵み野東地区イーストガーデンに開発行為による宅地造成が行われているといった背景が考えられる。

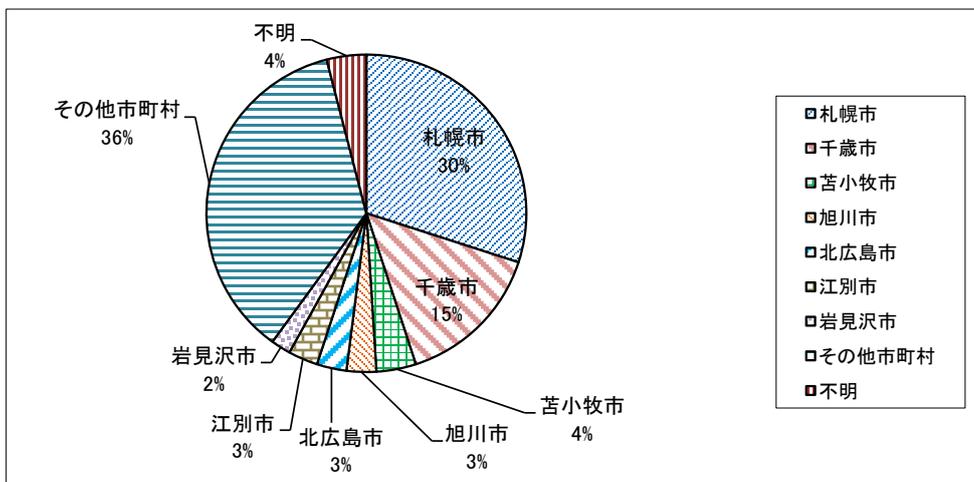


(7) 恵庭市に転入する前の居住地

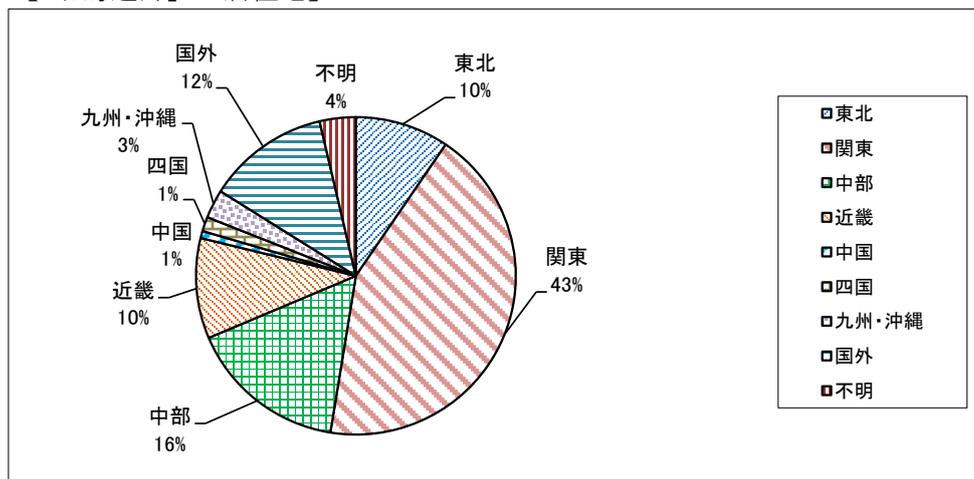
- 北海道内が79%と多くを占め、うち市町村別では、札幌市が30%、千歳市が15%、苫小牧が4%と続いている。また、北海道外では、関東（主に東京都周辺）からの転入が43%と最も多く、次いで、中部が16%、近畿が10%と続いている。また、国外の中では、中国からの転入が半数以上を占め最も多くなっている。
- 職業別には、学生・専門学校生は、北海道外の転入が半数を占め最も多く自営業、会社員、公務員・団体職員、パート・アルバイト、専業主婦・主夫、無職では、20%前後の割合となっている。



【「北海道内」の市町村】

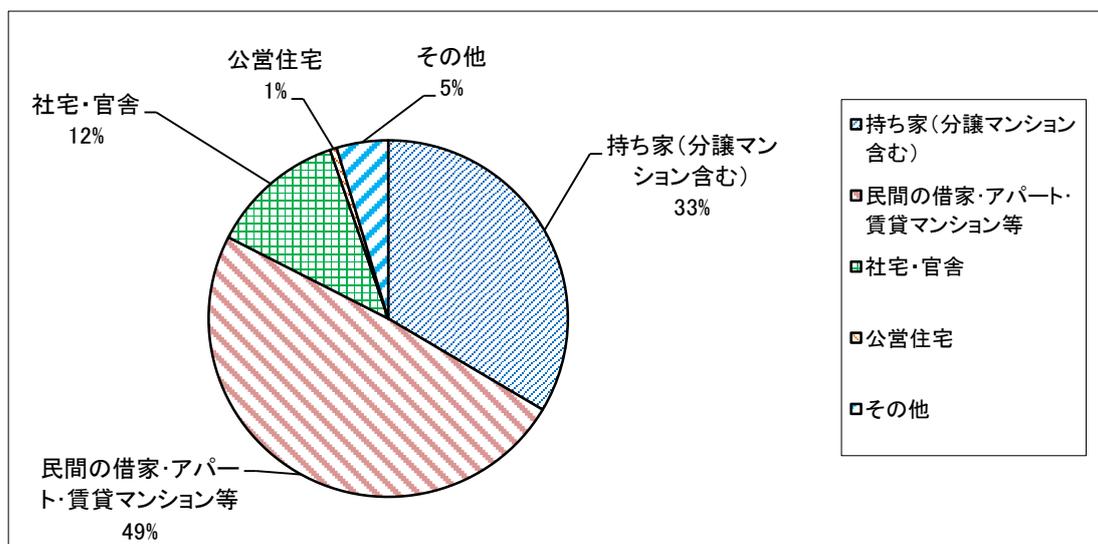


【「北海道外」の居住地】



(8) 住まい

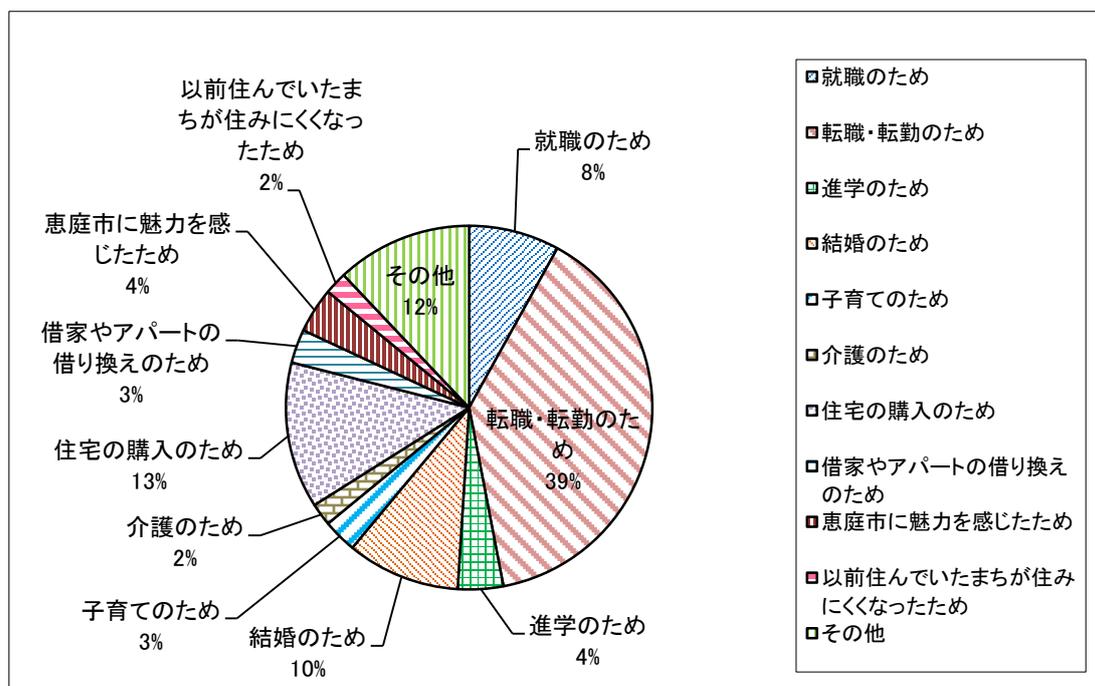
- 民間の借家・アパート・賃貸マンションが49%と約半数を占め、次いで、持ち家（分譲マンション含む）が33%、社宅・官舎が12%、公営住宅が1%と続いている。
- 年代別には、20歳代は民間の借家・アパート・賃貸マンションの割合が69%と最も多くなっている。また、持ち家（分譲マンション含む）が年齢とともに増加し、60歳代で76%と最も多くなっている。
- 上述のとおり地区別には恵み野小・恵み野旭小学校区において宅地造成を行っており、転入者の住まいのうち持ち家（分譲マンション含む）の割合が多い。



2.2 転入の理由について

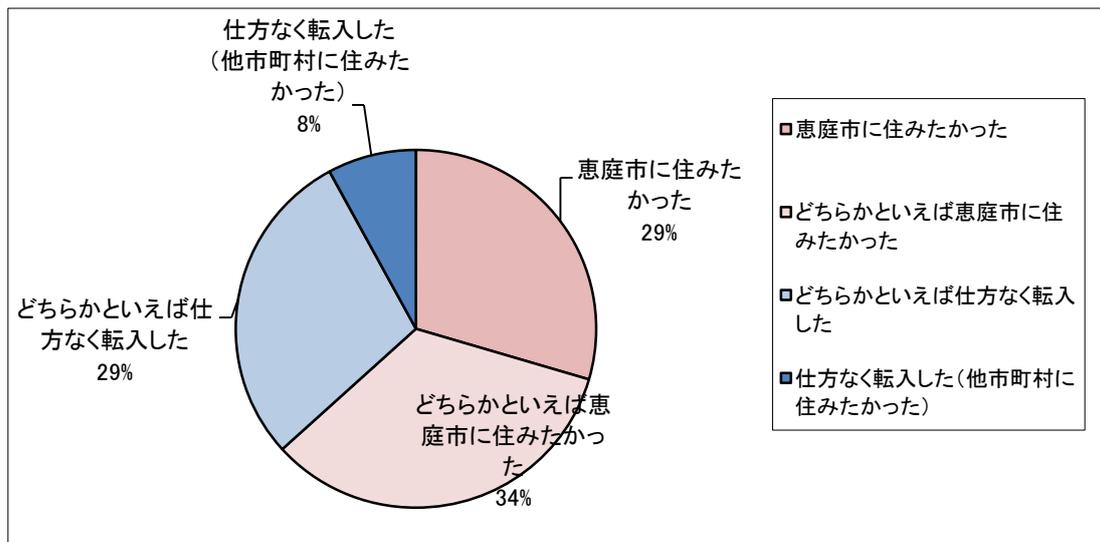
(1) 問1.「恵庭市」に住むことになった最も大きなきっかけ

- 「転職・転勤のため」が39%と最も多く、次いで、「住宅の購入のため」13%、「結婚のため」10%、「就職のため」8%と続いている。
- 年代別には、10歳代は「進学のため」57%と半数以上を占め、40歳代及び50歳代は「転職・転勤のため」が半数以上を占めている。また、30歳代では「住宅の購入のため」の割合が22%となっており、他と比較すると高くなっている。
- 居留意向別には、ずっと住み続けたいという回答者は「住宅の購入のため」の割合がやや高く、すぐにでも市外へ引っ越したいという回答者は「転職・転勤のため」の割合がやや高い。
- その他の回答内容は、「子供と住むため」「病気のため」「定年のため」「実家が恵庭だから」「以前住んでいたため」などが挙げられている。



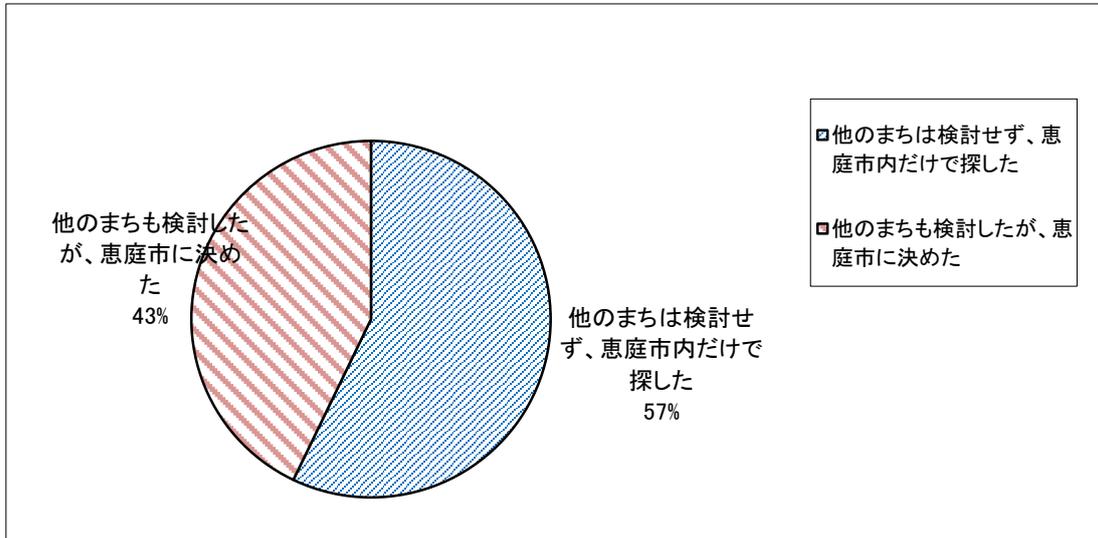
(2) 問2.「恵庭市」に転入する際の気持ち

- 「恵庭市に住みたかった」29%、「どちらかといえば恵庭市に住みたかった」34%をあわせて、63%が恵庭市に住みたかったとなっている。
- 地区別には、恵み野小・恵み野旭小学校区は「恵庭市に住みたかった」、「どちらかといえば恵庭市に住みたかった」を合わせると76%となり、他地区と比較すると、恵庭市に住みたかった割合が最も高くなっている。
- 居留意向別には、住み続けたいという回答者は「恵庭に住みたかった」の割合が約90%、市外へ引っ越したいという回答者は「仕方なく転入した」の割合が約90%となっている。

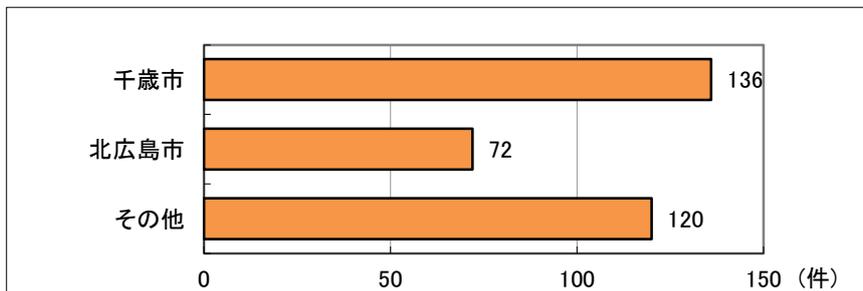


(3) 問3. 転入先として「恵庭市」以外の検討について

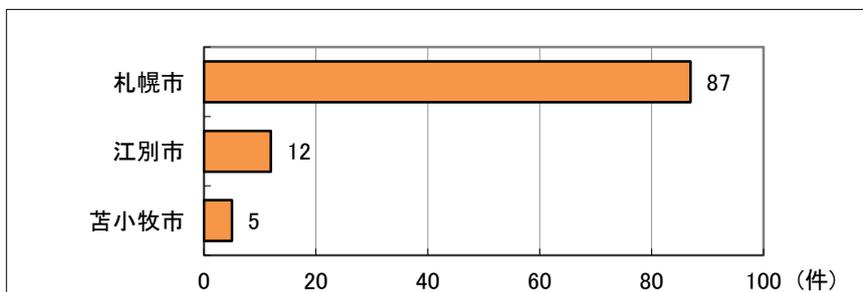
- 「他のまちも検討したが、恵庭市に決めた」が43%となっており、検討した主な市町村は、千歳市が136件、札幌市が87件、北広島市が72件となっている。



【「恵庭市」以外で検討した地域】

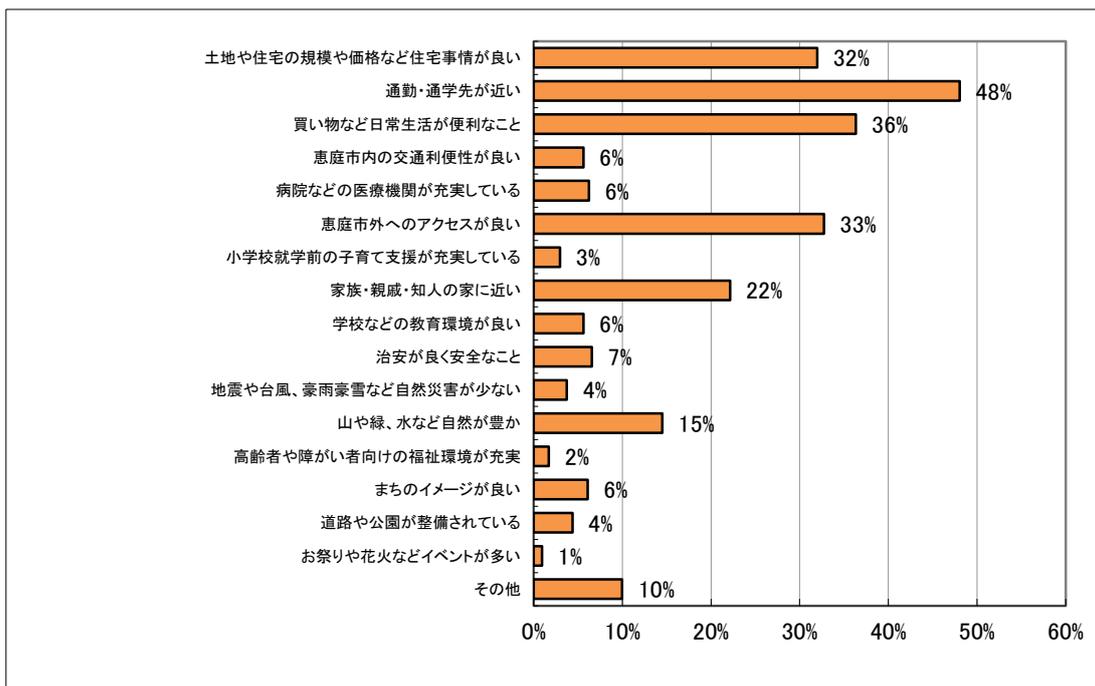


【「その他」の主な地域（5件以上）】



(4) 問4. 転入先を決める際に考慮した居住環境について

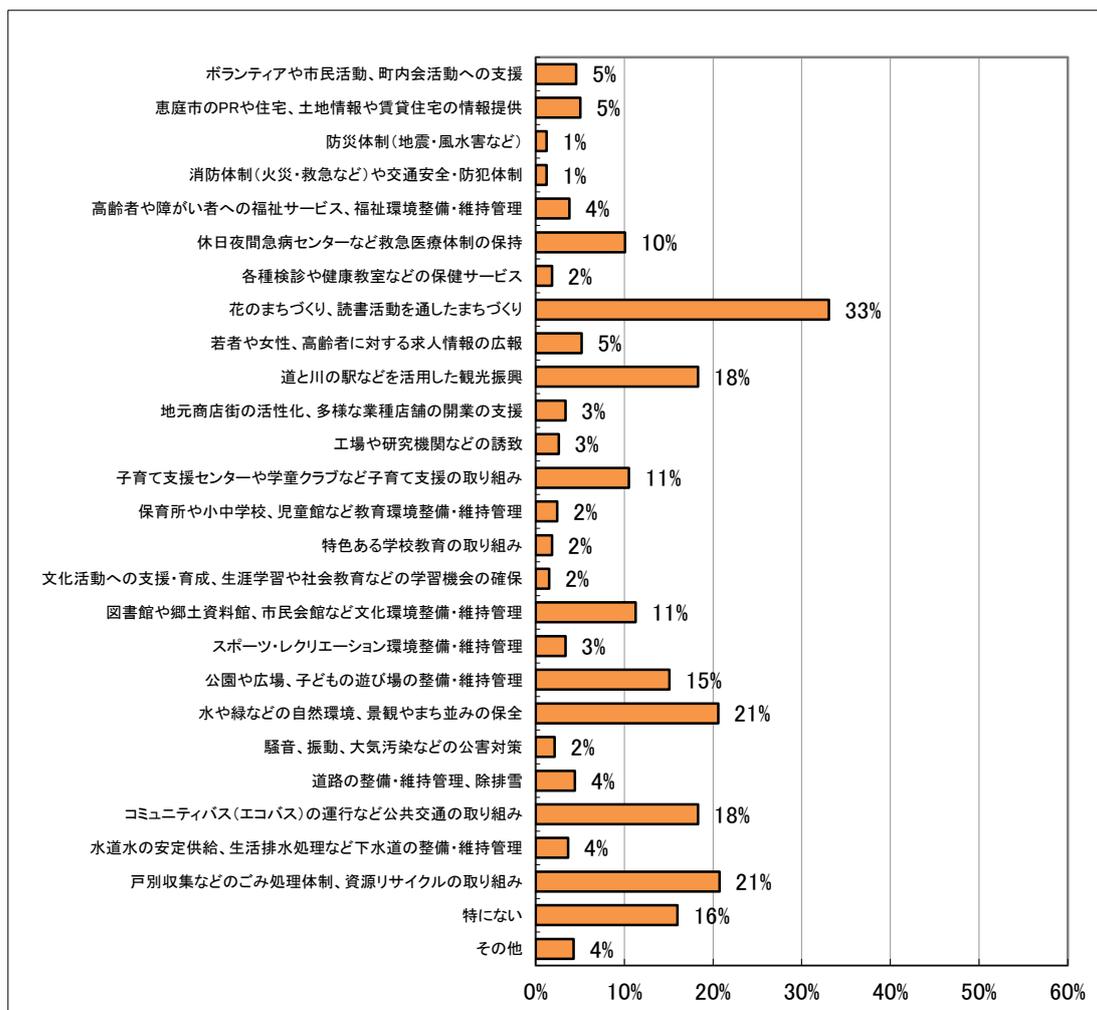
- 「通勤・通学先が近い」が48%と最も多く、次いで、「買い物など日常生活が便利なこと」が36%、「恵庭市外へのアクセスが良い」が33%、「土地や住宅の規模や価格など住宅事情が良い」が32%と続いている。
- その他の回答内容は、「自分の実家があるため」「娘と同居のため余儀なく」「官舎居住が決まっているため」「千歳市から近い」「物価が安い」などが挙げられている。



2.3 「恵庭市」のことについて

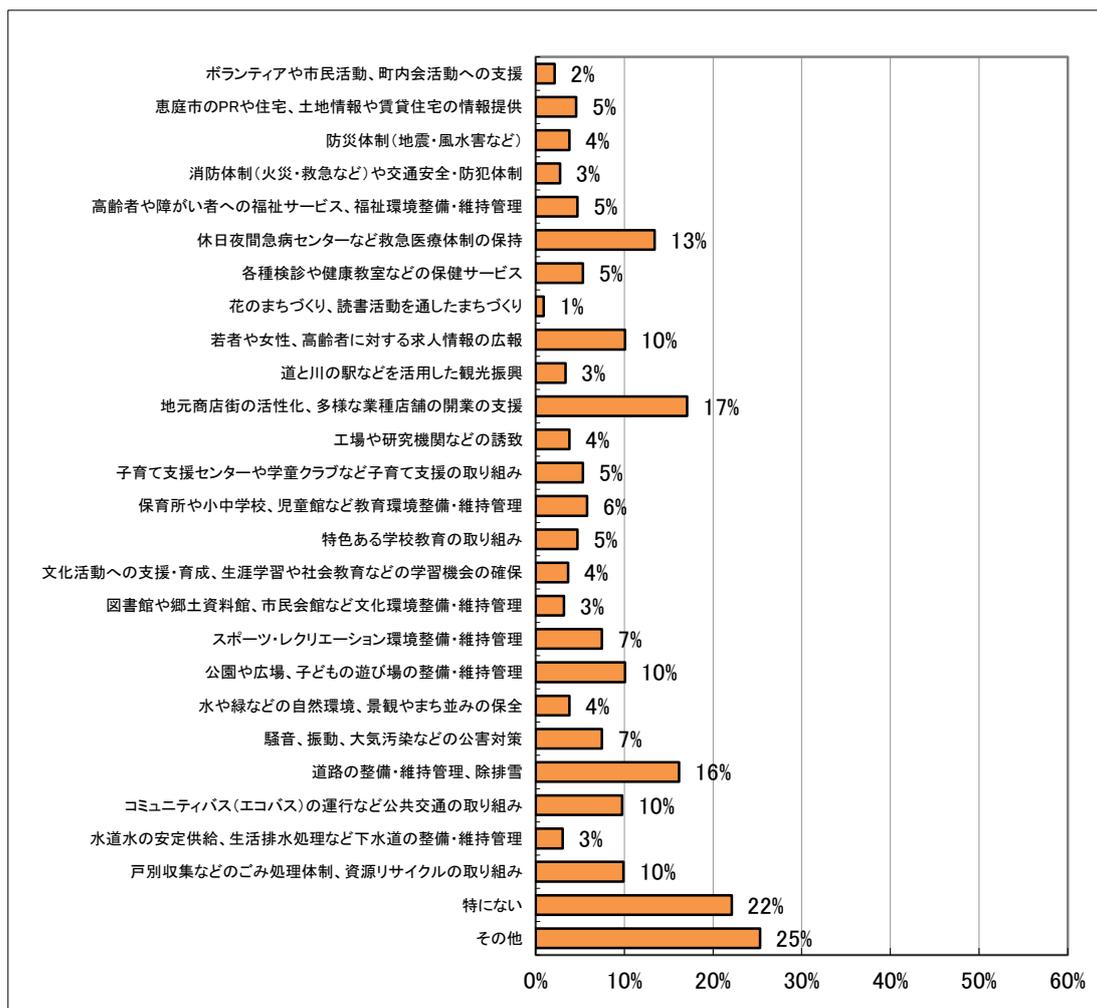
(1) 問5. 転入前の居住地と「恵庭市」の比較について

- ① I. 転入前の居住地より「恵庭市」で充実しており、続けてほしいと思うこと
- 「花のまちづくり、読書活動を通したまちづくり」が33%と最も多く、次いで、「戸別収集などのごみ処理体制、資源リサイクルの取り組み」、「水や緑などの自然環境、景観やまち並みの保全」が21%、「道と川の駅などを活用した観光振興」、「コミュニティバス（エコバス）の運行など公共交通の取り組み」が18%と続いている。
 - 居住意向別には、住み続けたいという回答者は「花のまちづくり、読書活動を通したまちづくり」「公園や広場、子どもの遊び場の整備・維持管理」の割合が高くなっている。
 - その他の回答内容は、恵庭に住んで間もないことにより、よく分からないとする回答が挙げられている。



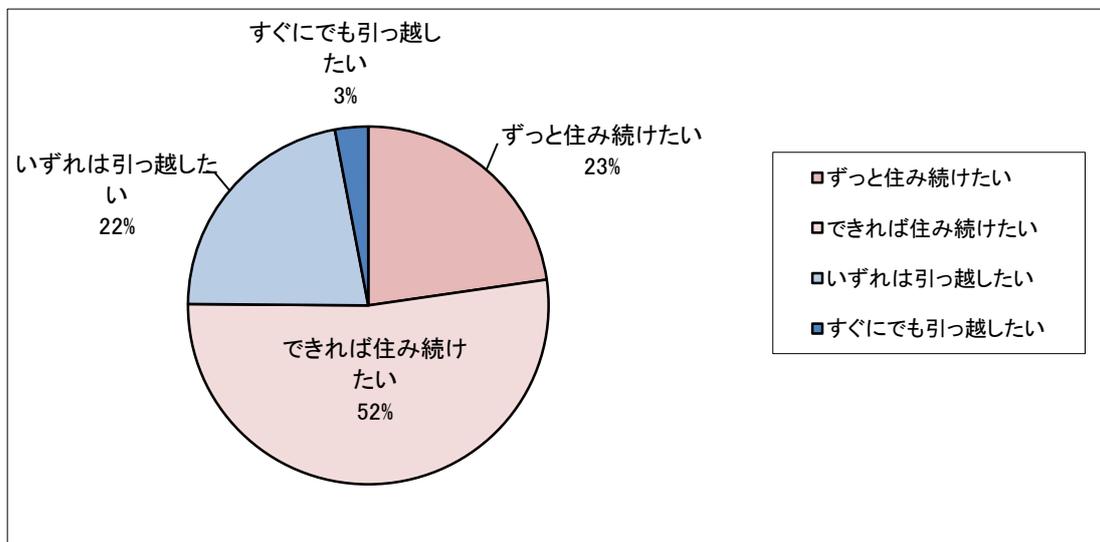
② II. 「恵庭市」 あったら良いと思うサービス

- 「特にない」が22%と最も多く、次いで、「地元商店街の活性化、多様な業種店舗の開業の支援」が17%、「道路の整備・維持管理、除排雪」が16%、「休日夜間急病センターなど救急医療体制の保持」が13%と続いている。
- その他の回答内容は、ゴミの処理、分別・収集について、除排雪の充実について、小児科医の充実についてなどが挙げられている。



(2) 問6.「恵庭市」に住みたいか

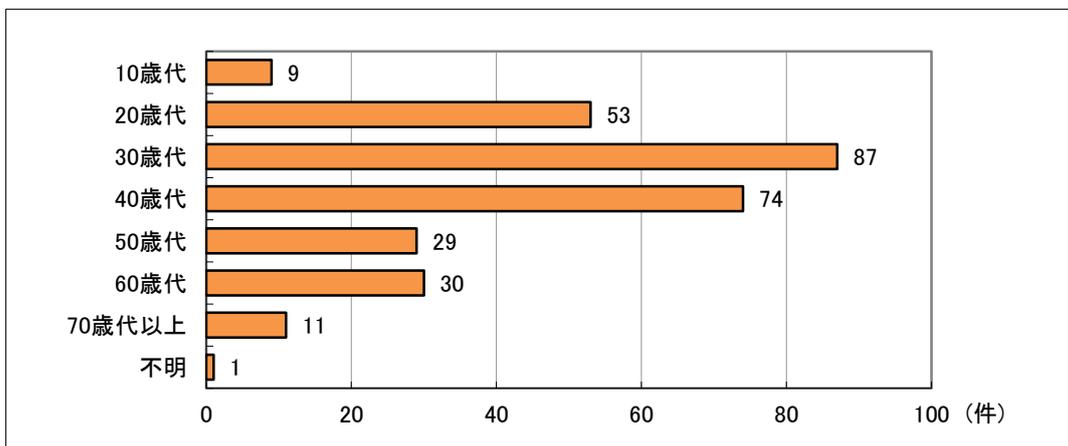
- 「ずっと住みたい」23%、「できれば住みたい」52%をあわせて、75%が恵庭市に住みたいとなっている。
- 地区別には、恵み野小・恵み野旭小学校区は「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」を合わせると89%となり、他地区と比較すると、恵庭市に住みたい割合が最も高くなっている。
- 「いずれは引っ越したい」「すぐにでも引っ越したい」の理由として、「大学を卒業したら、恵庭から出る」「転勤のため」「買い物が不便」「病院が充実していない」「希望する職種が少ない」などが挙げられている。



2.4 自由意見について

(1) 問7. 自由意見について

自由意見として、回答者 656 名のうち 294 名（44.8%）から、恵庭市が暮らしやすいまちとなることに対し、課題・不満や要望・提案など多様な意見が寄せられている。最も意見の多かった年代は、30代で 87 名（回答者の 29.6%）となっている。



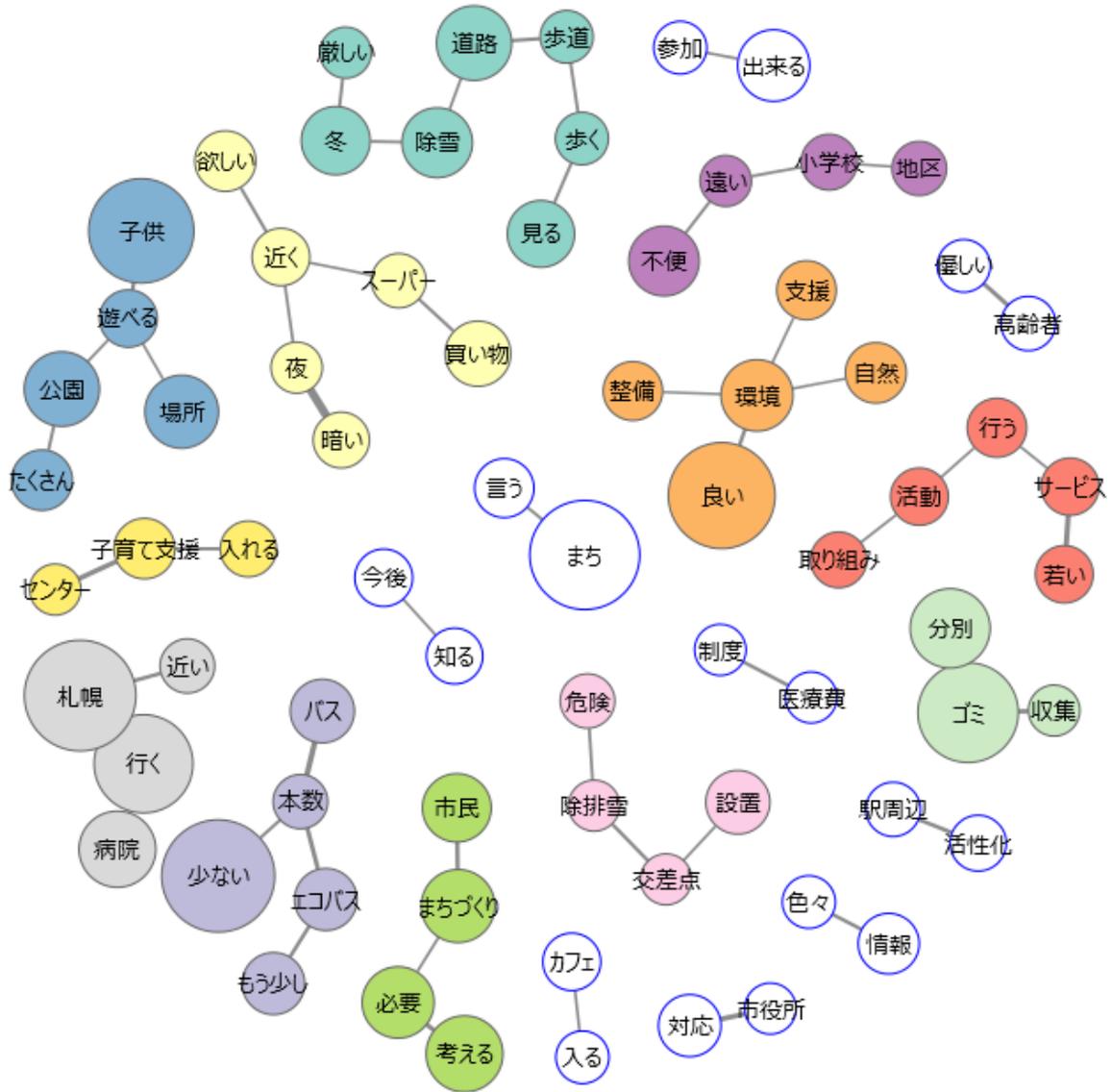
恵庭市がもっと暮らしやすいまちであるための自由意見について、語句関連性分析（テキストマイニング）による分析を行った。

分析結果では、以下に関する意見が挙げられている。

問 6 の結果同様、除雪対策への記載が多いほか、バス（エコバス）への要望やゴミ処理に関する記載、駅周辺の開発に対する記載、市役所職員の対応に対する感想等も多く見られた。

- ・子育て環境について
- ・医療体制について
- ・学校について（場所、通学距離など）
- ・公園整備について
- ・除排雪について
- ・ゴミ問題（分別等）について
- ・街灯について（夜の道が暗い）
- ・公共交通機関の利便性について（エコバスの増便等）
- ・買い物について（場所、交通手段など）
- ・駅周辺の活性化について
- ・市役所職員の対応について

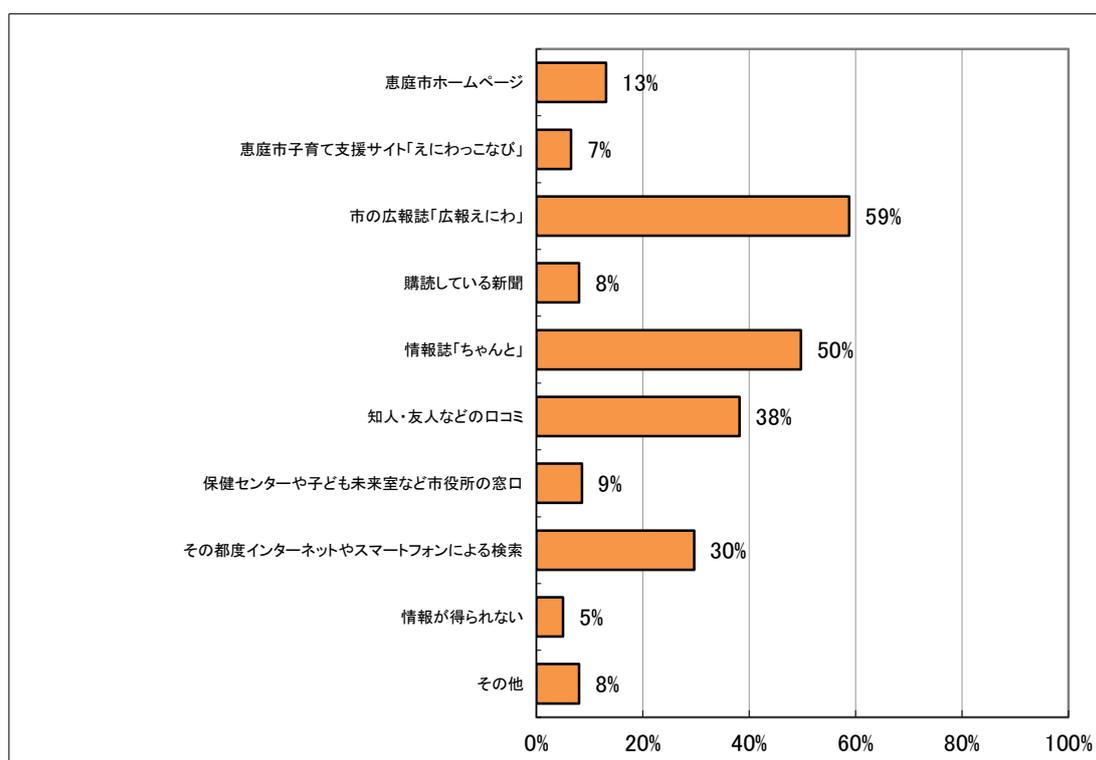
共起ネットワーク図（共起関係が強い50箇所を抽出）



2.5 子育て環境について（高校生以下の子どもがいる世帯）

(1) 問8. 子育てに関する情報の入手方法について

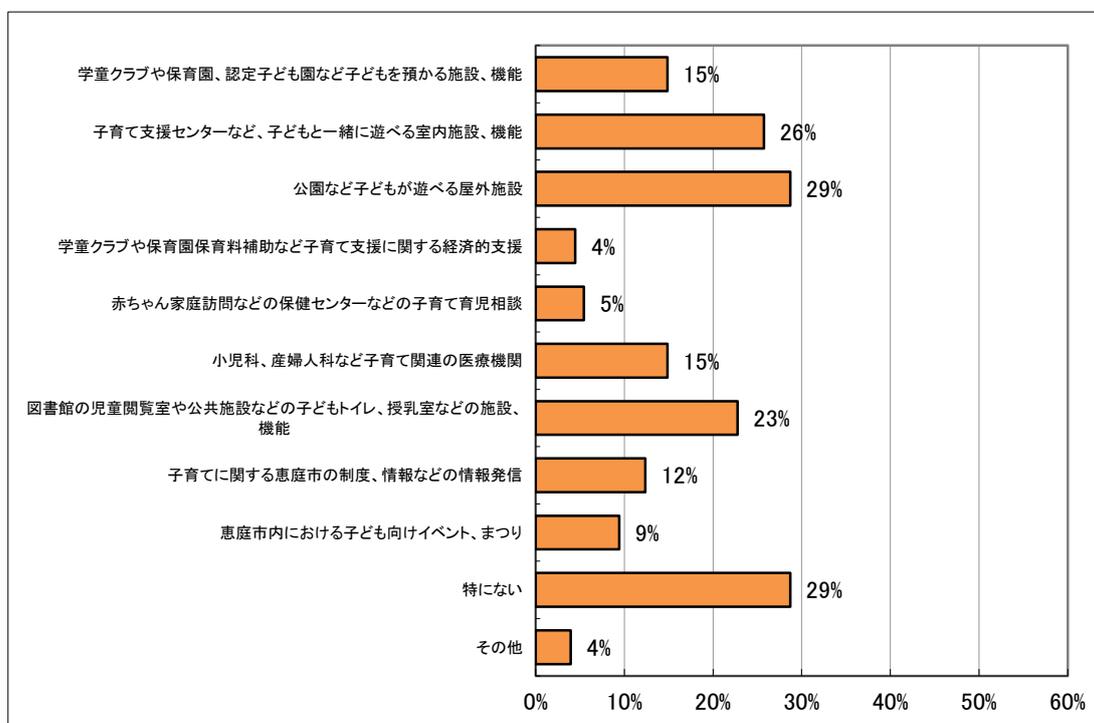
- 「市の広報誌「広報えにわ」」が59%と最も多く、次いで、「情報誌「ちゃんと」」が50%、「知人・友人などの口コミ」が38%、「その都度インターネットやスマートフォンによる検索」が30%と続いている。
- その他の回答内容は、「子育て支援センター」「小学校、幼稚園から」「フーレのお便り」「職場の担当者を通じて」などが挙げられている。



(2) 問9. 転入前の居住地と「恵庭市」の比較について

① I. 転入前の居住地より「恵庭市」で充実していると思うこと

- 「公園など子どもが遊べる屋外施設」「特にない」が29%と最も多く、次いで、「子育て支援センターなど、子どもと一緒に遊べる室内施設、機能」が26%、「図書館の児童閲覧室や公共施設などの子どもトイレ、授乳室などの施設、機能」が23%と続いている。
- 居住意向別には、住み続けたいという回答者は、「小児科、産婦人科など子育て関連の医療機関」「図書館の児童閲覧室や公共施設などの子どもトイレ、授乳室などの施設、機能」の割合が高くなっている。
- その他の回答内容は、恵庭に住んで間もないことにより、よく分からないとする回答が挙げられている。



② II. 「恵庭市」の子育てサービスであったら良いと思うこと

- 「小児科、産婦人科など子育て関連の医療機関」が34%と最も多く、次いで、「恵庭市内における子ども向けイベント、まつり」が25%、「公園など子どもが遊べる屋外施設」「特にない」が24%、「学童クラブや保育園保育料補助など子育て支援に関する経済的支援」が20%と続いている。
- その他の回答内容は、「産婦人科が少ない」「小さな子供が遊べるような遊具が少ない」「子供向けイベントが少ない」「学童クラブの利用についての条件等の見直し、転勤族に対する配慮がない」などが挙げられている。

